

1. 講義

- 川西 徹, 「薬学への招待」, 東邦大学薬学部 (2011.5)
- 川西 徹, 「医薬品の非臨床安全性評価を考える – バイオ医薬品を中心にして –」, 大阪大学大学院薬学系研究科 (2011.6)
- 奥田晴宏, 「承認審査から見た品質保証」, 国立保健医療科学院平成23年度薬事衛生管理研修 (2011.5)
- 奥田晴宏, 「化学物質の管理と関係法令」, 鎌倉女子大学 (2011.9)
- 奥田晴宏, 「Nomenclature of Drug Substance and Product Marketed in JAPAN」, 国際厚生事業団必須医薬品製造品質管理研修 (2011.11)
- 奥田晴宏, 「Division of Drugs: Research Work & Regulatory Contribution」, 国際協力機構薬事行政研修 (2011.12)
- 四方田千佳子, 「経口固形剤等の生物学的同等性」, 国立保健医療科学院平成23年度薬事衛生管理研修 (2011.5)
- 四方田千佳子, 「局方の製剤総則と製剤試験法について」, 徳島大学製剤学講義 (2011.12)
- 阿曾幸男, 「医薬品の安定性試験」, 国立保健医療科学院平成23年度特別課程薬事衛生管理コース (2011.6)
- 阿曾幸男, 「医薬品の品質確保 – 安定性試験 –」, 必須医薬品製造管理研修 (2011.12)
- 香取典子, 「統計学的評価法」, 国立保健医療科学院平成23年度薬事衛生管理研修 (2011.5)
- 坂本知昭, 「品質試験検査概論」, 国立保健医療科学院平成23年度薬事衛生管理研修 (2011.5)
- 坂本知昭, 「分析法バリデーション」, 国立保健医療科学院平成23年度薬事衛生管理研修 (2011.5)
- 小出達夫, 「理化学試験機器概論」, 国立保健医療科学院平成23年度薬事衛生管理研修 (2011.5)
- 川崎ナナ, 「バイオ医薬品開発とレギュラトリーサイエンス」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2011.5)
- 石井明子, 「バイオ医薬品の開発と品質・安全性確保」, 高崎健康福祉大学評価医療科学 (2011.6)
- 新見伸吾, 「有効性, 品質, 安全性の観点からバイオ医薬品の承認申請に必要な要件」, 日本大学生物資源科学部 生理活性物質化学特論 (2011.12)
- 日向昌司, 「バイオ医薬品とは何か?」, 明治薬科大学健康薬学コース講義 (2011.4)
- 日向昌司, 「漢方薬の生物学的評価法の重要性と展望」, 北里大学大学院医療系研究科講義 (2011.10)
- 合田幸広, 「生薬及び漢方製剤の品質確保」, 保健医療科学院薬事衛生管理研修 (2011.6)
- 合田幸広, 「食薬区分と生薬」, 東京農工大学 (2011.10)
- Goda, Y., “Current Status of Herbal Medicines in Japan and Their Quality Assurance”, JICWELS東南アジア行政官GMP研修会 (2011.11)
- 合田幸広, 「生薬及び漢方製剤の品質確保」, 医薬品医療機器総合機構生薬・漢方同好会研修会 (2011.11)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「指定薬物の現状と違法ドラッグの分析法について」, 平成23年度指定薬物分析研修会議 (2012.1)
- 内山奈穂子, 「違法ドラッグ買い上げ製品の流通実態調査について」, 平成23年度指定薬物分析研修会議 (2012.1)
- 緒方 潤, 「植物系違法ドラッグ製品の基原植物調査について」, 平成23年度指定薬物分析研修会議 (2012.1)
- 佐藤陽治, 「循環器領域の遺伝子治療・再生医療に関する最近の動向と安全性評価」, 早稲田大学理工学術院 (2011.7)
- 小林憲弘, 「身の回りのリスクを評価する (化学物質, 食品, 放射能等を対象に)」, 東京理科大学大学院共通特別講義 (2011.6)
- 西村哲治, 「水質の検査と評価」, 国立保健医療科学院水道工学研修 (2011.10)

渡邊敬浩, 「What is Sampling ? -General aspects of sampling and the specified plan and procedure for aflatoxin testing-」, JICA 平成22年度食品安全のためのマイコトキシン検査技術コース (2011.4)

渡邊敬浩, 「分析結果の信頼性保証におけるサンプリングの役割について」, 食品衛生登録検査機関協会精度管理研修会 (2011.7)

河村葉子, 「第9版食品添加物公定書の作成状況」, 食品衛生登録検査機関協会平成23年度食品添加物研修会 (2011.10)

堤 智昭, 「食品中の放射性セシウムスクリーニング検査について」, 平成23年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者研修会 (2011.11)

松田りえ子, 「分析(値)の信頼性と分析法の妥当性評価について」, 平成23年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者研修会 (2011.11)

渡邊敬浩, 「食品に残留する農薬等試験の信頼性確保(試験法の妥当性評価と内部品質管理の具体例について)」, 食品衛生登録検査機関協会平成23年度残留農薬等研修会 (2012.1)

根本 了, 「食品中の残留農薬等公示試験法に関する最近の動向」, 食品衛生登録検査機関協会平成23年度残留農薬等研修会 (2012.1)

坂井隆敏, 「加工食品中の残留農薬等の分析法開発について」, 食品衛生登録検査機関協会平成23年度残留農薬等研修会 (2012.1)

堤 智昭, 「食品中の放射性物質のスクリーニング法の考え方について」, 平成23年度地方衛生研究所全国協議会衛生化学分野研修会 (2012.2)

渡邊敬浩, 「分析結果の信頼性保証 サンプリングの原則と実行上の注意」, 食品衛生登録検査機関協会平成23年度業務管理研修会 (2012.2)

渡邊敬浩, 「What is Sampling ? -General aspects of sampling and the specified plan and procedure for aflatoxin testing-」, JICA 平成23年度食品安全のためのマイコトキシン検査技術コース (2012.2)

堤 智昭, 「食品中の放射性セシウムの検査について」, 平成23年度検査精度管理業務研修会 (2012.3)

穂山 浩, 「遺伝子組換え食品及び食物アレルギー食品の検査法の開発に関する研究について」, 三重大学大学院 (2011.6)

穂山 浩, 「添加物の規格I」, 平成23年度食品衛生管理者登録講習会 (2011.8)

穂山 浩, 「遺伝子組換え食品について」, 知の市場(食の総合管理特論) (2011.11)

穂山 浩, 「食品中アレルゲンのリスク評価」, 東京農工大学大学院 (2011.11)

穂山 浩, 「食物アレルゲンの解析と検知法について」, 昭和薬科大学大学院 (2011.12)

穂山 浩, 「食品添加物の安全性確保について」, 国立保健医療科学院平成23年度特別課程食品衛生管理コース (2012.2)

佐藤恭子, 「添加物の規格II」, 日本食品添加物協会平成23年食品衛生管理者登録講習会 (2011.8)

久保田浩樹, 「分析法概論I」, 日本食品添加物協会平成23年食品衛生管理者登録講習会 (2011.8)

山崎 壮, 「食の安全の科学:世界的な食品流通の中の食品添加物」, 東京大学教養学部テーマ講義「アジアの食-グローバル化の中で-」 (2011.7)

山崎 壮, 「添加物の規格III」, 日本食品添加物協会平成23年食品衛生管理者登録講習会 (2011.8)

秋山卓美, 「分析法概論II」, 日本食品添加物協会平成23年食品衛生管理者登録講習会 (2011.8)

六鹿元雄, 「添加物の規格IV」, 日本食品添加物協会平成23年食品衛生管理者登録講習会 (2011.8)

六鹿元雄, 「改正予定試験法の注意点および器具・容器包装等に関する試験法の妥当性評価ガイドライン」, 食品衛生登録検査機関協会平成23年度器具・容器包装研修会 (2011.11)

- 山本茂貴, 「食品の衛生管理とHACCPシステム」, 日本獣医生命科学大学 (2011.5)
- 山本茂貴, 「食品の微生物学的リスクアナリシス」, 国立保健医療科学院平成23年度特別課程食肉衛生検査研修 (2011.6)
- 山本茂貴, 「New Food Safety Policy in Japan」, JICA (2011.7)
- 五十君静信, 「制御が難しい細菌性食中毒起因菌リステリアとカンピロバクター」, 東京農工大学学際領域特別講義 (2011.6)
- 五十君静信, 「食肉の微生物制御と検査法」, 国立保健医療科学院平成23年度特別課程食肉衛生検査コース (2011.7)
- 五十君静信, 「食肉における食中毒細菌の特徴とその制御」, 国立保健医療科学院平成23年度特別課程食品衛生管理コース (2012.2)
- 町井研士, 「マリンバイオトキシン」, 国立保健医療科学院平成23年度食品衛生危機管理研修 (2012.2)
- 春日文子, 「食品安全におけるリスクアセスメント」, 国立感染研究所FETP初期導入コース (2011.4)
- 春日文子, 「食品媒介有害微生物のリスク分析について」, 京都大学農学部 (2011.5)
- 春日文子, 「腸管出血性大腸菌と食中毒」, 動物衛生研究所家畜衛生講習会 (獣疫学特殊講習会) (2011.10)
- 野田 衛, 「食品の微生物検査 (2)」, 知の市場 (2011.11)
- 野田 衛, 「ノロウイルスによる食中毒」, 国立保健医療科学院平成23年度食品衛生危機管理研修 (2012.1)
- 小西良子, 「アフラトキシン通知の改正について」, 一般社団法人食品衛生登録検査機関協会平成23年度特殊技術研修会 (2011.8)
- 小西良子, 「新しいタイプの寄生虫性食中毒」, 平成23年度愛媛県公衆衛生獣医師協議会研修会 (2011.10)
- 小西良子, 「アフラトキシン通知の改正について」, 第13回日本マイコトキシン学会技術セミナー (2011.10)
- 鎌田洋一, 「新しい寄生虫による食中毒」, 岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター第9回研修会 (2011.10)
- 小西良子, 「食品の衛生管理に関すること (食肉及び魚介類の寄生虫と健康被害など)」, 栃木県保健福祉部平成23年度食品衛生監視員等研修会 (2011.11)
- 小西良子, 「原因不明下痢症」, 国立保健医療科学院平成23年度短期研修細菌研修 (2011.11)
- 小西良子, 「新たに判明した寄生虫による食中毒の詳細とその検査法」, 千葉県健康福祉部健康福祉センター (保健所) 等における検査業務等に関する研修会 (2011.11)
- 鎌田洋一, 「原因不明下痢症」, 国立保健医療科学院平成23年度短期研修細菌研修 (2011.11)
- 大西貴弘, 「生鮮食品 (魚類) の寄生虫による有症事例について」, 平成23年度食品安全行政講習会 (2011.11)
- 鎌田洋一, 「生鮮食品 (馬肉) の寄生虫による有症事例について」, 平成23年度食品安全行政講習会 (2011.11)
- 大西貴弘, 「粘液胞子虫とその毒性および検査法」, 国立保健医療科学院平成23年度短期研修細菌研修 (2011.11)
- 小西良子, 「Risk assessment of mycotoxin」, Support Program for Improving Graduate School Education, Training Course (岐阜大学・大学院教育改革支援プログラム研修コース) (2011.12)
- 大西貴弘, 「生食用食品を共通とした原因不明食中毒 (魚肉における原因究明と対策)」, 国立保健医療科学院平成23年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2012.1)
- 鎌田洋一, 「馬肉における原因究明と対策」, 国立保健医療科学院平成23年度短期研修食品衛生管理研修 (2012.1)
- 工藤由起子, 「感染性細菌による食中毒」, 国立保健医療科学院平成23年度短期研修食品衛生管理研修 (2012.2)
- 鎌田洋一, 「原因不明食中毒について (馬肉中のSarcocystis fayeri)」, 厚生労働省平成23年度食肉衛生技術研修会 (2012.2)

- 鎌田洋一, 「Parasitic food poisoning caused by horse meat」, Support Program for Improving Graduate School Education. (岐阜大学研修コース) (2011.12)
- 鎌田洋一, 「馬肉のザルコシステイス食中毒:原因究明, 検査法からその制御まで」, 日本獣医師会平成23年度産業動物臨床・小動物臨床・獣医公衆衛生講習会 (2012.2)
- 大西貴弘, 「ヒラメの食中毒」, 東京都特別区職員研修所・特別区専門研修 (2012.2)
- 大西貴弘, 「クドアの検査法」, 国立感染症研究所平成23年度希少感染症診断技術研修会 (2012.2)
- 最上(西巻)知子, 「国立衛研での化学物質安全性研究と代謝性疾患治療薬研究」, 平成23年度東北大学薬学部薬学概論2 (2011.6)
- 内藤幹彦, 「抗癌剤耐性と細胞死の分子機構」, 東京大学薬学部がん細胞生物学講義 (2011.6)
- 内藤幹彦, 「プロテインノックダウン法の開発と創薬の可能性」, 名古屋市立大学薬学部特別講義 (2012.3)
- 手島玲子, 「遺伝子組換え食品の安全性評価について」, 平成23年度JICA食品保健行政コース研修 (2012.2)
- 蜂須賀暁子, 「食品中の放射性セシウムの検査の全般について」, 平成23年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2011.11)
- 蜂須賀暁子, 「食品中の放射性物質の測定の実際について」, 平成23年度地方衛生研究所全国協議会衛生理化学分野研修会 (2012.2)
- 近藤一成, 「遺伝子組換え食品について」, 国立保健医療科学院平成23年度短期研修食品衛生危機管理研修(2012.1)
- 近藤一成, 「きのこによる食中毒」, 国立保健医療科学院平成23年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2012.2)
- 近藤一成, 「遺伝子組換え食品の検知法について」, 平成23年度JICA食品保健行政コース研修 (2012.2)
- 安達玲子, 「アレルギー物質を含む食品の表示と検査方法」, 国立保健医療科学院平成23年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2012.2)
- 畠山智香子, 「農産物総合リスク論 食品安全リスク分析」, 茨城大学農学部 (2011.6)
- 畠山智香子, 「食品安全情報の正確な理解に向けて」, 農林水産省農政課題解決研修食品の安全性向上支援研修 (2011.7)
- 畠山智香子, 「食品安全情報を読み解く方法」, UHB大学 (2011.9)
- 畠山智香子, 「ほんとうの「食の安全」を考える」, 東京都福祉保健局・病院経営本部研修センター平成23年度「栄養士」研修 (2011.9)
- 畠山智香子, 「「食品安全リスク分析」で考える「食品の安全」」, 千葉大学園芸学部公開講座「食の安全と安心II」 (2011.10)
- 畠山智香子, 「リスクアナリシスによる食品の安全性確保」, 第29/30期食品保健指導士養成講習会 (2011.6/11)
- 畠山智香子, 「食品中発がん物質のリスク評価について」, 東京都平成23年度技術職員研修「技術セミナーIII」 (2012.2)
- 畠山智香子, 「食品中化学物質のリスクについて」, 三重県平成23年度HACCP研修会 (2012.2)
- 畠山智香子, 「ほんとうの食の安全を考える～食品中化学物質のリスク分析について～」, 東京都多摩小平保健所平成23年度在宅栄養士研修会 (2012.2)
- 畠山智香子, 「食品中化学物質のリスク分析」, 国立保健医療科学院平成23年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2012.2)
- 青木良子, 「医薬品を安全に使うためにー海外の市販後調査報告を活用する(感染症に関連する副作用情報を中心に)」, 東北大学大学院薬学研究科感染症学講義 (2011.11)
- 登田美桜, 「毒性情報の入手と利用」, 国立保健医療科学院平成23年度専門課程・保健福祉行政管理分野 (2012.1)
- 黒瀬光一, 「医薬品の副作用発症を予測するための研究」, 明治薬科大学 (2011.4)

- 齋藤嘉朗, 「医学医療情報学」, 福島県立医科大学大学院 (2011.6)
- 齋藤嘉朗, 「臨床薬物動態学」, 千葉大学大学院 (2011.6)
- 齋藤嘉朗, 「生命薬科学演習」, 名古屋市立大学大学院 (2011.6)
- 齋藤嘉朗, 「医薬品評価科学特論」, 東京大学大学院 (2011.11)
- 齋藤嘉朗, 「創薬プロセス特論」, 長崎大学大学院 (2011.12)
- 菅野 純, 「ナノ材料の毒性評価」, 2011年公開講座「知の市場」 (2012.1)
- 小島 肇, 「動物実験代替法の申請資料への活用」, 皮膚基礎研究クラスターフォーラム第6回教育セミナー (2011.7)
- 広瀬明彦, 「リスクアセスメント・マネジメント, 環境毒性 (環境汚染物質), 放射性物質, 紫外線, ナノマテリアル」, 第13回日本トキシコロジー学会基礎教育講習会 (2011.8)
- 広瀬明彦, 「ナノ材料の評価の現状とOECD等の動向」, ナノ・アスベスト事例研究, 知の市場 (2012.1)
- 2. 講演**
- 川西 徹, 「日本薬局方第16改正 —主な改正点とそのねらい」, 薬学教育協議会 (2011.4)
- 川西 徹, 「局方改正 今後の課題について」, 東京医薬品工業協会研修講演会 (2011.5)
- 川西 徹, 「日本薬局方の今後の課題について」, 大阪医薬品協会技術委員会 (2011.10)
- Kawanishi, T., “Japanese Pharmacopoeia –Present and Future–”, Pharmacopoeia Global Summit (2011.11)
- Kawanishi, T., “Japanese Pharmacopoeia”, INTERNATIONAL MEETING OF WORLD PHARMACOPOEIAS (2012.2)
- 奥田晴宏, 松村清利*, 「ICH Q11ガイドラインの目的及び平成22年度厚生労働科学研究の成果」, ICH Q11ガイドライン説明会 (2011.8)
- * 大塚化学(株)
- 奥田晴宏, 「出発物質及び生物起源材料の選択」, ICH Q11ガイドライン説明会 (2011.8)
- 奥田晴宏, 「品質分野に関する改正薬事法の問題点: 一変と軽微変更について 元厚生労働科学研究班の立場から」, 薬事エキスパート研修会 (2011.9)
- 四方田千佳子, 「生物学的同等性試験における国際的な動向と我が国のガイドライン」, 薬物動態・薬効予測とレギュラトリーサイエンス The 10thIntensive Course (2011.5)
- 四方田千佳子, 「溶出試験を巡る動きと今後の流れ」, 日本薬剤学会第26年会 (2011.6)
- 西島正弘, 四方田千佳子, 「ジェネリック医薬品品質情報検討会の活動内容について」, 日本ジェネリック医薬品学会第5回学術大会 (2011.6)
- Yomota, C., “Japanese and global situations in regulation of oral drug products”, International Symposium on BA/BE of Oral Drug Products (2011.6)
- 四方田千佳子, 「製剤総則の改正点およびジェネリック医薬品の規格試験法について」, 薬剤学教員会議講演 (2011.8)
- 四方田千佳子, 「理化学試験法委員会における話題」, JAIMAコンファレンス特別セミナー (2011.9)
- 四方田千佳子, 「後発医薬品 (ジェネリック医薬品) の品質について」, 平成23年度熊本県後発医薬品安心使用に係る研修会 (2011.10)
- 四方田千佳子, 「第16改正日本薬局方」, 第48回全国薬事指導協議会総会講演 (2011.10)
- 四方田千佳子, 「ジェネリック医薬品の品質及び情報収集について」, 長野県薬剤師会後発医薬品使用促進のための研修会 (2011.11)
- 四方田千佳子, 「ICHQ3D: 金属不純物」, 第25回ICH会

議 (セベリア) 即時報告会 (2011.12)

四方田千佳子, 「ジェネリック医薬品の品質に関わる話題」, 山形県後発医薬品安心使用促進事業講演会 (2011.12)

Yomota, C., “Japanese regulation of oral drug products and global situations”, The Asian Federation for Pharmaceutical Sciences Conferences 2011 (2011.12)

四方田千佳子, 「ジェネリック医薬品の品質等について」, 栃木県後発医薬品採用基準等研修会 (2012.2)

四方田千佳子, 「理化学試験法の話について」, 大阪医薬品協会実務ガイド説明会講演 (2012.2)

四方田千佳子, 「ICP-AESとICP-MS等の一般試験法への新規収載について」, 第8回日本薬局方に関する説明会 (2012.2-3)

四方田千佳子, 「ジェネリック医薬品の品質について, ~ジェネリック医薬品品質情報検討会の活動を中心に~」, 日本薬学会第132年会 (2012.3)

伊豆津健一, 「タンパク質凍結乾燥製剤の熱測定」, 第47回熱測定討論会 (2011.10)

Katori, N., “State of BMV in Japan and Some Comments on Questions from Industry”, The 5th Workshop on Recent Issues in Bioanalysis (2011.4)

香取典子, 「バイオアナリシスフォーラムの紹介」, 第1回JBFシンポジウム (2011.8)

香取典子, 「バイオアナリシスフォーラム (JBF) の設立と国際調和に向けての動き」, 第24回バイオメディカル分析化学シンポジウム (BMAS2011) (2011.8)

香取典子, 「試験検査室管理とGMP — 公的試験室管理の現状とPIC/S加盟申請について—」, 食品薬品安全センター秦野研究所・医療機器安全性試験セミナー (2012.1)

香取典子, 「日本版バイオアナリシス分析法バリデーション指針策定について」, 日本ジェネリック製薬協会第15回製剤研究会 (2012.2)

香取典子, 「日本におけるBMVの現状およびJBF活動報

告」, 第2回JBFシンポジウム (2012.3)

坂本知昭, 「振動分光法を用いた医薬品の品質特性の解析及びテラヘルツ波技術の工程管理手法としての導入研究」, 福井大学遠赤外領域開発研究センターセミナー (2011.7)

坂本知昭, 「コーティングにおける品質について 品質評価技術の導入研究」, 製剤機械技術研究会第10期固形製剤教育研修会 (2011.8)

小出達夫, 「最新の特性解析技術と規格及び試験方法」, 薬事エキスパート研修会第2回品質/科学技術特別研修会 (2011.12)

Sakai-Kato, K., “Current Initiatives Relevant Nanomedicines in Japan”, 4th European-Conference for Clinical Nanomedicine (CLINAM 2011) (2011.5)

Sakai-Kato, K., “Uses of Capillary Electrophoresis for Pharmaceutical Quality Control in Japan”, CE in the Biotechnology & Pharmaceutical Industries: 13th Symposium on the Practical Applications for the Analysis of Proteins, Nucleotides and Small Molecules (CE Pharm 2011) (2011.10)

加藤くみ子, 「ナノテクノロジーを応用した製剤開発に関する動向」, 第20回固形製剤処方研究会シンポジウム (2011.11)

加藤くみ子, 「ナノDDS製剤開発に関する動向と評価手法研究」, 日本薬学会第132年会 (2012.3)

川崎ナナ, 「抗体医薬品の品質確保」, 薬事エキスパート研修会第一回品質/科学技術特別研修抗体医薬品の製造と品質管理 (2011.7)

原園 景, 「糖タンパク質医薬品の品質評価」, 日本質量分析学会・BMS研究会 (2011.7)

川崎ナナ, 「臨床試験に向けたバイオ医薬品の品質管理」, レギュラトリーサイエンス学会第1回学術大会シンポジウム (2011.9)

川崎ナナ, 「バイオ医薬品原薬の特性及び管理に関する現状と課題」, 第109回薬事エキスパート研修会バイオ医薬品の品質管理に関する最近の話題, 日本薬学会 (2011.11)

- 石井明子, 「バイオ医薬品原薬の製造に関する現状と課題」, 第109回薬事エキスパート研修会バイオ医薬品の品質管理に関する最近の話題, 日本薬学会 (2011.11)
- 川崎ナナ, 「質量分析とバイオ医薬品の品質管理」, 新アミノ酸分析研究会第1回学術講演会 (2011.12)
- 橋井則貴, 「最新の特性解析技術と規格及び試験法 (バイオ医薬品)」, 薬事エキスパート研修会第2回品質/科学技術特別研修 (2011.12)
- 川崎ナナ, 「遺伝子組換えカイコによるバイオ医薬品開発の課題」, 公開シンポジウム カイコ産業の未来ー遺伝子組換えカイコによる医薬品開発を目指してー (2012.2)
- 橋井則貴, 「質量分析法を用いた糖タンパク質医薬品の糖鎖解析」, 第24回バイオリジカルズ製造技術研究会セミナー (2012.2)
- 新見伸吾, 「バイオ医薬品における免疫原性のリスク因子について」, 日本製薬工業協会バイオ医薬品委員会平成24年度2月度技術委員会全体会合 (2012.2)
- 山口照英, 「バイオ医薬品の品質・安全性の要件」, 三重大学医学部主催「新規ワクチン研究開発に関する勉強会」 (2012.3)
- 山口照英, 「バイオ医薬品の規制とバイオ後続品の品質・安全性・有効性確保」, 化学工学会関東支部大会 (2012.3)
- Yamaguchi, T., “Regulatory Aspects of Cell Therapy Products in Japan”, KFDA International Workshop of Cell Therapy Products (2011.11)
- 山口照英, 「バイオシミラー (バイオ後続品) とは」, ジェネリック医薬品学会シンポジウム「バイオシミラーへの理解と期待～医療のイノベーションと経済性の両立～」 (2011.7)
- 川崎ナナ, 「最近のバイオ医薬品の品質評価課題とケーススタディ」, 日本製薬工業協会バイオ医薬品委員会技術実務委員会 (2012.1)
- 新見伸吾, 「免疫原性のリスク因子と予測方法ー有効性に及ぼす影響, 低下させる治療戦略ー」, 薬事エキスパート研修会第4回品質/科学技術特別研修 (2012.3)
- 新見伸吾, “Risk factors of immunogenicity and their mitigation”, Immunogenicity Seminar 2012 (2012.3)
- 合田幸広, 「食薬区分とは」, 健康食品制度化への障壁研究会 (2011.5)
- 丸山卓郎, 「日本薬局方の改正ー十五局から十六局へー」, 第6回生薬若手懇話会 (2011.8)
- 合田幸広, 「食薬区分と違法ドラッグ」, 漢方薬・生薬認定薬剤師研修会 (2011.9)
- 合田幸広, 「生薬分野における日本薬局方に関連する最近の話題」, 薬用植物フォーラム2011 (2011.10)
- 合田幸広, 「最近の生薬の話題について」, 大阪生薬協会技術部会特別研修会 (2011.10)
- 合田幸広, 「一般用漢方処方を用いた使用実態調査AURについて」, 日本薬局製剤研究会全国大会 (2011.10)
- Goda, Y., “Pharmacopoeial topics on herbal medicine in Japan from 2010 to 2011”, The 9th Standing Committee Meeting of the Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (2011.10)
- 袴塚高志, 「西洋ハーブの品質評価におけるCorona CADの応用」, CORONA USER’S FORUM 2011 OSAKA (2011.10)
- 袴塚高志, 「西洋ハーブの品質評価におけるCorona CADの応用」, CORONA USER’S FORUM 2011 TOKYO (2011.10)
- 合田幸広, 「ニセ薬の話, モグラたたきのサイエンス」, 国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム (2011.11)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「麻薬植物」, 漢方薬・生薬認定薬剤師研修会 (2011.11)
- Goda, Y., “Current Status and Future Plans of Standardization for Herbal Medicines in Japan”, Asian Federation for Pharmaceutical Sciences Conference 2011 (2011.12)
- 合田幸広, 「生薬の定量規格と日本薬局方試薬」, 第40回生薬分析シンポジウム (2011.12)

合田幸広, 「生薬の定量規格と日本薬局方試薬への定量NMRの適用」, 平成23年度日本薬剤師会試験検査センター技術研修会 (2011.12)

合田幸広, 「ニセ薬の話, 痩身や強壮などを標榜する健康食品中の医薬品成分の分析と同定」, 第1回バイオ・ナノ産学連携セミナー: 食品分析ソリューションセミナー 2012 (2012.1)

袴塚高志, 「ISOにおける伝統医学国際標準化の現況」, シンポジウム「日本の伝統医学に関わる生物遺伝資源と伝統的知識の行方」(2012.1)

袴塚高志, 「ISO TC249の現況について」, ISOにおける伝統医学関連の規格作りと伝統的知識の保護に関する研究会 (2012.1)

合田幸広, 「定量NMRと日本薬局方試薬への定量NMRの適用」, 第8回日本薬局方に関する説明会 (2012.2-3)

Kikura-Hanajiri, R., Uchiyama, N., Kawamura, M., Goda, Y., “The trends of the abuse of designer drugs and their legal status in Japan”, The first International Conference on Novel Psychoactive Compounds (2012.3)

佐藤陽治, 「細胞の品質: 再生医療/細胞治療/細胞・組織加工製品の開発状況と展望」, 名古屋市立大学-国立医薬品食品衛生研究所連携大学院発足公開シンポジウム (2011.7)

佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療の実用化に向けた規制に関する国際比較」, (財)日本学術振興会「再生医療の実用化」に関する研究開発専門委員会シンポジウム「オールジャパンで目指す再生医療実用化」(2011.7)

佐藤陽治, 「幹細胞臨床研究/細胞・組織利用製品におけるセル・バンクの品質」, 第14回ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針の見直しに関する専門委員会 (2011.9)

佐藤陽治, 「造腫瘍性試験の現状について」, 第2回スーパー特区意見交換会(再生医療) (2011.9)

佐藤陽治, 「欧米における再生医療事業に対する規制・制度等について」, 再生医療イノベーションフォーラム規制・制度WG会議 (2011.11)

佐藤陽治, 「細胞・組織加工製品の造腫瘍性評価」, 文部科学省「再生医療の実現化ハイウエイ」第1回ミニマム・コンセンサス・パッケージ(MCP)策定会議(第1回再生医療薬事講習会) (2012.2)

佐藤陽治, 「再生医療/細胞・組織加工製品における造腫瘍性試験-もう少し詳しく-」, 国家基幹研究開発推進事業「再生医療の実現化ハイウエイ」第6回プロジェクトマネージャー(PM)会議 (2012.2)

佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療の実用化に関する規制についての国際比較」, Pharma Vision 2012 (2012.2-3)

松岡厚子, 「次世代医療機器評価指標-次世代型高機能人工心臓」, 第50回日本生体医工学会大会 (2011.4)

松岡厚子, 「レギュラトリーサイエンス(RS)とは?」, 日本生体医工学会医療機器に関するレギュラトリーサイエンス研究会第2回RS専門別研究会 (2011.11)

中岡竜介, 「神経機能修飾装置に関する評価指標について」, 次世代医療機器開発ガイドライン・評価指標セミナー (2012.1)

杉本直樹, 「qNMRの食品・天然物分析への応用~波及効果と現状~」, 日本薬学会生薬天然薬物部会主催第4回食品薬学シンポジウム (2011.10)

杉本直樹, 「核磁気共鳴(NMR)法を利用した定量技術と日本薬局方試薬への応用-NMRによる天然有機化合物の定量分析とその役割-」, 第40回生薬分析シンポジウム (2011.12)

杉本直樹, 「定量NMRの天然物分析への応用」, 平成23年度試験検査センター技術研修会 (2011.12)

河上強志, 「家庭用品検査について」, 平成23年度特別区保健所衛生検査技師会化学業務研究会 (2012.1)

渡邊敬浩, 「トランス脂肪酸の分析法の取扱いの現状と今後の課題」, トランス脂肪酸の分析法に関する説明会 (2011.5)

松田りえ子, 「食品分析の信頼性確保に関する最近の動向」, 食総研・産総研ジョイントシンポジウム (2011.7)

松田りえ子, 「米中のCd分析の現状」, 「蛍光X線分析に

よる食品中のカドミウムの簡易・迅速な分析法」に関するキックオフミーティング (2011.12)

松田りえ子, 「食品安全と放射性物質測定」, 公衆衛生情報協議会 (2012.1)

堤 智昭, 「スクリーニング検査用機器の性能評価の実際」, 新基準値に対応した「食品中の放射性セシウムスクリーニング法」に関する説明会 (2012.2)

松田りえ子, 「食品検査と食品中の放射性物質のスクリーニング法の考え方について」, 新基準値に対応した「食品中の放射性セシウムスクリーニング法」に関する説明会 (2012.2)

坂井隆敏, 「加工食品中の残留分析法について」, 2012年中農薬残留分析交流会セミナー (2012.2)

穂山 浩, 「国衛研の食品の安全性確保に向けての取り組み」, 日本食品添加物協会平成23年度秋季特別研修会 (2011.11)

五十君静信, 「食品微生物制御に関するトピックシリーズ ステリアおよびクロノバクター」, 平成23年度食品微生物技術懇話会 (2011.6)

五十君静信, 「生食用食肉の基準に取り上げられた *Enterobacteriaceae* (腸内細菌科菌群) 試験法—その背景と試験法解説—」, 食の安全を確保するための微生物検査協議会 (2011.11)

五十君静信, 「試験検査の重要性と検査方法の国際的整合性について」, 生食用食肉の規格・基準と検査に関する講習会 (2011.11)

五十君静信, 「生食用食肉の規格基準について」, 食の安全・安心を考える講演会 (2011.11)

五十君静信, 「生食用食肉の規格基準の考え方とその試験法」, 食品品質保持技術研究会 (2011.11)

五十君静信, 「食品中の微生物標準試験法の検討とその目指すもの」, 平成23年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2011.11)

五十君静信, 「生食用食肉の規格基準の考え方とその試験法」, 食品微生物学会技術研修会 (2011.12)

五十君静信, 「生食用食肉の規格基準の考え方と腸内細菌科菌群試験法」, 食品衛生登録検査機関協会微生物研修会 (2011.12)

五十君静信, 「生食用食肉の規格基準とその科学的背景」, 微生物制御システム研究部会 (2012.2)

五十君静信, 「数的指標の考え方に基づいて策定された生食用食肉の新しい規格基準とは」, 東京都栄養士会研究教育部会講演会 (2012.2)

五十君静信, 「生食用食肉の規格基準とその科学的背景」, 日本防菌防霉学会微生物制御研究部会公開講座 (2012.2)

五十君静信, 「カンピロバクター検出のための標準試験法の検討」, 日本細菌学会技術講習会 “話題微生物の分離・同定法と最新事情” (2012.3)

五十君静信, 「微生物のリスクプロファイルについて」, 食品衛生特別講演会 (2012.3)

五十君静信, 「微生物のリスクプロファイル」, HACCP指導者養成研修会 (2012.3)

春日文子, 「散発食中毒実態の迅速かつ正確な把握を目指して」, 埼玉県衛生研究所セミナー (2011.8)

野田 衛, 「食品のウイルス検査の現況と課題」, 第32回日本食品微生物学会学術総会 (2011.10)

野田 衛, 「食中毒を防ぐために～ノロウイルスに気をつけよう」, 平成23年度第二回食の安全フォーラム (2012.1)

野田 衛, 「ウイルス性食中毒の疫学と情報共有」, 微生物制御システム研究会公開講座 (2012.2)

野田 衛, 「ノロウイルスに関する最近の話題」, 平成23年度(第25回)生活衛生関係業績発表会 (2012.3)

野田 衛, 「ノロウイルス食中毒の最近の動向」, 第七回微酸性電解水研究会 (2012.3)

小西良子, 「カビ毒と免疫毒性」, 第84回日本産業衛生学会中の第58回アレルギー免疫毒性研究会 (2011.5)

小西良子, 「食中毒を起こすパラサイトトキシン (寄生

虫毒)」、第101回日本食品衛生学会学術講演会シンポジウムー自然毒による食中毒の現状ー (2011.5)

大西貴弘、「新たに判明した寄生虫による食中毒の詳細とその検査法ー生鮮魚肉を共通食とする食中毒ー」、NPO法人 食の安全を確保するための微生物検査協議会第1回総会・講演会 (2011.5)

鎌田洋一、「新たに判明した寄生虫による食中毒の詳細とその検査法ー生鮮獣肉を共通食とする食中毒ー」、NPO法人 食の安全を確保するための微生物検査協議会第1回総会・講演会 (2011.5)

大西貴弘、「推定原因物質の生物学的特徴について」、微生物技術協議会第32回研究会 (2011.6)

大西貴弘、「ヒラメ毒ー新たに判明した寄生虫による食中毒ー」、第13回ジャパン・インターナショナル・シーフードショウ (2011.7)

小西良子、「カビ毒ってどんな毒」、第4回NPO法人カビ相談センター講演会 (2011.7)

杉山圭一、「カビ毒からみたグローバルレベルの環境変化と食の安全性ー感染症とカビ毒の意外な関係ー」、日本食品科学工学会第58回大会シンポジウム (2011.9)

鎌田洋一、「病院物質不明有症事例と寄生虫」、平成23年度滋賀県衛生科学センター講演会 (2011.9)

小西良子、「マイコトキシンの国際的動向と日本の現状」、フードセーフティジャパン (2011.10)

菊池 裕、「スプライス変異型プリオン蛋白質遺伝子の解析」、第35回星薬科大学大学院研究科助手会・大学院自治会合同公開セミナー (2011.10)

鎌田洋一、「ザルコシスティスが含まれる馬肉による食中毒」、第32回日本食品微生物学会学術総会シンポジウム (2011.10)

小西良子、「生食用食肉・魚介類による新しい食中毒の解明」、日本食品衛生学会公開講演会 (2011.11)

大西貴弘、「クドアを原因微生物とする食中毒について」、平成23年度第4回食品衛生監視員研修会 (2011.11)

吉成知也、「総アフラトキシンを含有する食品の検査法について」、平成23年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2011.11)

Hara-Kudo, Y., 「Foodborne infections with *Vibrio parahaemolyticus* and Shig toxin-producing *Escherichia coli* in Japan」, JICA国際研修 (2011.12)

工藤由起子、「腸管出血性大腸菌による食中毒の発生現況とその検査法について」、平成23年度食品衛生登録検査機関協会微生物研修会 (2011.12)

工藤由起子、「食品からの腸管出血性大腸菌の検出法について」、地方衛生研究所全国協議会平成23年度「地域保健総合推進事業」関東甲信静ブロック専門家会議 (微生物部門) (2011.12)

大西貴弘、「粘液胞子虫による新しい食中毒」、埼玉県衛生研究所セミナー (2012.1)

大西貴弘、「クドアセプトンクタータの毒性と試験法」、平成23年度地研全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会 (2012.1)

小西良子, 吉成知也, 「マイコトキシンのリスク評価」、日本農芸化学会2012年度大会マイコトキシンのリスク評価, 生産と制御および分析シンポジウム (2012.3)

小西良子, 「The risk assessment and regulation of mycotoxin if food in Japan」, 第11回UJNR有毒微生物国際シンポジウム (2012.3)

小西良子, 「魚類寄生虫によるパラサイトトキシン食中毒」、第28回マリントキシン研究会 (2012.3)

大西貴弘, 「Novel food poisoning outbreaks in Japan by consumption of *Paralichthys olivaceus* (Olive flounder) in raw.」, United State-Japan cooperative program on development & utilization of natural resources (2012.3)

工藤由起子, 「A sharp decrease in *Vibrio parahaemolyticus* infections and seafood contamination in Japan.」, United State-Japan cooperative program on development & utilization of natural resources (2012.3)

渡辺麻衣子, 「Molecular phylogeny of the higher and lower taxonomy of the *Fusarium* genus and differences in the

evolutionary histories of multiple genes.], United State-Japan cooperative program on development & utilization of natural resources (2012.3)

大西貴弘, 「生鮮食品(魚類・馬肉)の寄生虫による有症事例について」, 平成23年度食品衛生監視員研修会(2012.3)

大西貴弘, 「生鮮食品を共通食とする新しい寄生虫性食中毒」, 平成23年度横浜市衛生研究所衛生技術研修会(2012.3)

柴田識人, 「マクロファージにおける25ヒドロキシコレステロールによるERストレスシグナル活性化機構の解明」, 平成23年度東京大学大学院薬学系研究所(2011.5)

手島玲子, 「アレルギー対策の現状」, ifia JAPAN 2011(2011.5)

蜂須賀暁子, 「飲食物中の放射性物質」, 日本薬学会・大気環境学会主催市民講演会(2011.7)

手島玲子, 蜂須賀暁子, 「食品中の放射性物質の測定法」, 日本薬学会フォーラム2011 衛生薬学・環境トキシコロジー(2011.10)

蜂須賀暁子, 「食品中放射性物質の測定法について」, 第48回全国衛生化学技術協議会年会(2011.11)

蜂須賀暁子, 「スクリーニング法に適用する検査機器の性能規定について」, 新基準値に対応した「食品中の放射性セシウムスクリーニング法」に関する説明会(2012.2)

蜂須賀暁子, 「食品の放射性物質汚染について」, 国立医薬品食品衛生研究所一般公開衛研講座(2011.11)

畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク」, 千葉大学園芸学部第18回松園会総会(2011.5)

畝山智香子, 「遺伝毒性発がん物質のリスク評価について」, NPO法人食科協平成23年度会員研究講演会(2011.5)

畝山智香子, 「食品安全情報を読み解く方法」, 農薬に関する情報交換会(2011.6)

畝山智香子, 「食品安全リスク分析とは何かー主に食品中化学物質についてー」, 第107回食用加工油脂技術研究会(2011.6)

畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク分析について」, 日本食品工業倶楽部品質保証懇話会9月例会(2011.9)

畝山智香子, 「食品安全情報の収集と発信について」, 輸入冷凍野菜品質安全協議会平成23年度第4回定例会議(2011.11)

畝山智香子, 「食品中化学物質のリスクについて」, 中野区第10回食の安全・安心懇談会(2011.11)

畝山智香子, 「ほんとうの食の安全を考える」, 桶谷式乳房管理研鑽会2011年母乳育児サポートセミナー(2011.11)

畝山智香子, 「発がんリスク, 特保, サプリメントー食品のリスク」, 第25回グリーンプロダクツ研究会(2011.11)

畝山智香子, 「食品安全情報の正確な理解に向けて」, 全国農薬協同組合第34回安全協全国集会(2011.11)

畝山智香子, 「「食の安全」を考える」, 平成24年長野県うまいくだもの中央講習会(2012.1)

畝山智香子, 「食品中発がん物質のリスクをどう考えるか」, 近畿農政局近畿地域食の安全・安心行政推進連絡会議「地域リスクコミュニケーション部会」(2012.1)

畝山智香子, 「海外の食品安全情報と食のリスクについて」, 公益社団法人日本輸入食品安全推進協会第5回勉強会(2012.2)

畝山智香子, 「農薬の残留基準と食の安全性について」, 財団法人長野県果樹研究会第26回会員大会(2012.3)

畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, 全国農薬協同組合中央会食の安全・安心対策担当者会議(2012.3)

畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, JA富里市指導連絡協議会講演会(2012.3)

登田美桜, 「科学的知見による食の安全と安心」, やまな

し食の安全・食育推進大会 (2011.9)

窪田邦宏, 「微生物による海外の大規模食中毒アウトブレイク」, 平成23年度千代田区輸入食品関係食品衛生講習会 (2012.2)

黒瀬光一, 「ゲノム情報に基づく個別化, 最適化医療をめざして」, 東北大学薬学研究科シンポジウム大学院における先導的次世代型薬剤師の育成 (2012.3)

平林容子, 「知ろう, 学ぼう, 放射線~保護者の声に応える為に~」, 横浜市立小学校長会 (2011.9)

菅野 純, 「毒性試験と評価に関する新たな課題へのアプローチ-厚生労働省ナノマテリアル研究の展開」, 化学物質の安全管理に関するシンポジウム-新しい化学物質等のリスク問題へのアプローチ (2012.2)

菅野 純, 「リスク評価から見た化学物質と放射線の共通点と差異-摺り合わせのたたき台として」, 化学生物総合管理学会・社会技術革新学会 (2012.3)

小島 肇, 「医薬品・医療機器の許認可に求められる安全性試験」, 第7回大阪大学医工連携シンポジウム第2回MEI産学官連携部門勉強会講演会 (2011.6)

小島 肇, 「欧米, 日本における代替法の現状と化粧品の安全性評価における代替法」, 第4回千葉科学大学コスメティックサイエンスシンポジウム (2011.7)

Kojima, H., "Necessity of validation study of new or updated test methods for hazard assessment", Workshop on Validation of 3T3 Neutral Red Uptake Phototoxic Test, Guangzhou (2011.11)

小島 肇, 「生物学的製剤基準とワクチンの品質確保にどこまで動物実験は有用か」, 厚生労働科学研究費補助金レギュラトリーサイエンス研究事業「医薬品を巡る環境の変化と生物学的製剤基準の在り方に関する研究」ワークショップ「国際化時代の生物学的製剤基準とワクチンの品質確保のありかた」 (2012.2)

小島 肇, 「動物実験代替法の国際的動向とJaCVAM活動について」, 日本輸入化粧品協会 技術部会 (2011.12)

小島 肇, 「代替法の現状および化粧品の安全性評価」, 化合物安全研究所学術講演会「生物的安全性試験法の最

新動向について」 (2012.3)

吉田 緑, 「残留農薬の安全性評価の最新動向」, 第9回食品安全フォーラム (2011.11)

吉田 緑, 「レギュラトリーサイエンス」, 東京農工大学工学部集中講義 (2011.12)

広瀬明彦, 「Toxicity testing strategy based on the concept of the threshold of toxicological concern (TTC)」, 遺伝毒性発がん物質の閾値に関する国際シンポジウム (2011.11)

広瀬明彦, 「リスク評価手法 TTCとMOEの解説」, 第20回ILSI Japan毒性学教育講座特別講演 (2011.12)